



第1回 学校説明会資料

2020（令和2）年5月16日

聖ヨゼフ学園中学校

〒230-0016

横浜市鶴見区東寺尾北台 11-1

TEL.045-581-8808 FAX.045-584-0831

Email info-nyushi@atonement.ed.jp（中学入試委員会）

第1回学校説明会(Web配信) 本日の予定

<日時> 2020年5月16日(土)午前10:00～

※5月15日(金)午後にオンライン説明会の動画 URL をメールにて送ります。当日は10:00 から配信いたしますので、URL をクリックして頂きご準備ください。

<会場> 聖ヨゼフ学園中学・高等学校 試食室

<プログラム>

第一部	説明会開始 10:00～	総合司会 茅野 良太
	・校長あいさつ	校長 清水 勝幸
	・入試報告・概略	中学入試委員長 多田 信哉
	・思考力とIB カリキュラム	IB コーディネーター 吉野 英男
	～おぼえる君から考える君へ～	
	・共学への期待	教頭 武田 けい子

第一部終了

第二部 希望者対象～Google Meet を使った個別相談～

第一部終了後～11:00(予定)

Google のアカウントをご用意ください(～@gmail.com のものです)

★ご質問がある場合は事前に info-nyushi@atonement.ed.jp のアドレスにお申し込み頂くとスムーズに個別相談ができます。

<個別相談ご参加の手順>

1. Google のアカウントを準備する(～@gmail.com のものです)
2. Gmail で個別相談の希望を申請する
(すでにお送りしている info-nyushi@atonement.ed.jp の中学入試委員会宛のアドレスに「お名前」と「個別相談希望」と明記して送付してください)
3. 当日説明会后、(学校から)招待を受けたら、Meet に「参加する」をクリックする

※教員はビデオを ON にしますが、皆さまは音声のみでの相談も可能です

－資料目次－

1. 2020年度入試問題作問方針と解説・・・・・・・・・・ P 3
2. 中学入試合格体験記・・・・・・・・・・ P 13
3. 2020年度中学入試結果・・・・・・・・・・ P 15
4. 進路指導及び結果・・・・・・・・・・ P 16
5. 2020年度大学受験体験記・・・・・・・・・・ P 18

【Web 説明会時の配布資料一覧】

- ① 2020年度版学校案内パンフレット(過年度版)
- ② 2021年度版リーフレット(2020年度公開行事予定含む)
- ③ 説明会資料(本資料)
- ④ 進路進学資料(B4両面2枚)
- ⑤ 2月15日説明会レジュメ
- ⑥ 共学化についてのお知らせ
- ⑦ 2020(令和2)年度入試問題

★過去(2010年度～2013年度、2019年度)の入試問題冊子をご希望の場合は、郵送いたしますのでその旨お申し出ください。また、2009年以前のものをご希望される方はご来校の際に事務所にてお声掛けください。

★2020年度入試問題冊子は7月に完成予定です。

※2021年度入試要項は6月に告知予定です

1. 2020年度入試問題作問方針と解説

【国語】

1. 出題方針・出題意図

学園の建学の精神「信望愛」や教育方針である「喜びの発見」「神様の思いを感じ取る」にかなった文章を選定することに努めている。

随筆・小説においては、受験生が語り手や主人公の心情をくみ取りやすいよう同世代の子どもを中心とした世界が描かれている作品を出題する方針である。また、国際社会における共生や人としてどう生きるかを考えさせる題材や説明文も取りあげる。

2019年度よりクリティカルシンキング（批判的思考力）の問題を導入し、「正解のない問い」に対して、経験や知識を活用し、発想や説得を加えて問題を解決していく力を求めている。さらに、2020年度よりリスニング問題を導入し「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく育成していくことに重点を置いている。

設問内容

- ① 文章の要点を整理して聞くことができるかをみる問題（聞く力・メモを取る力）
- ② 漢字・書き順・慣用句・ことわざ・主語と述語など言葉の知識をみる問題（語彙力）
- ③ 作者の伝えたいことを的確につかむことができるかをみる問題（読解力）
- ④ 自分の考え方を適切な言葉で表現できるかをみる問題（表現力）
- ⑤ ひとつの物事をさまざまな方向から考える問題（批判的思考力）

2. 問題・解答の分析

- ① リスニング問題……5W1H（いつ・どこで・誰が・何を・どのように・なぜ）を整理して聞く。数字や人名については、正確にメモを取る。話を聞くときに、メモを取る練習をしておくとうい。
- ② 漢字……読み・書きは小学校6年生までに学習する字を中心に出题している。漢字ドリルを繰り返し練習して基礎力を養っておくとうい。とめ・はね・はらいなど細部まで丁寧に書く習慣をつけておく。
- ③ 言語知識……得意不得意が顕著に表れる傾向がある。日常的に言葉に関心を持ち、正しい言葉遣いを身につけるように心掛けることが必要。意味や使い方のわからない言葉は辞書を引く習慣をつけること。ことわざや慣用句、対義語や四字熟語などは基本的なものを幅広く学習しておくとうい。
- ④ 長文読解問題……形式はほぼ例年通りであるが、クリティカル問題導入に伴い、問題数は減らしている。記述問題は、40字～60字で出題したが、文中からの引用の寄せ集めのような形で文自体が成立していないケースや、主語・述語の不一致により文章が意味を成さない解答が見られた。配点が大きいため、部分点をもうけているが、力の差が見えた問いであった。また、単純な表記ミスや主語が抜けおちてしまうなどのミスも見られた。試験時間には余裕があったので、書いたものを読み返す習慣をつけておくとうい。
- ⑤ クリティカル問題……全体としては質問の意図を汲み取り、よく記述できていた。多くが事前説明会や体験入試等で示した例題を理解し、対応できていたためだと思われる。今年度も説明会等でこのような機会を設けるので参考にしてほしい。

3. クリティカル問題の採点のポイント（絵の描写）

第2回入試 七 問1

この絵に描かれている季節はいつだと考えられますか。また、そのように考えられる理由も説明しなさい。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬



【模範解答】

記号 ア（春）

理由 理由は、窓の外に桜が咲いているからです。だから、私はこの絵に描かれている季節は春だと考えました。

【解答・採点のポイント】

- ◆昨年度から継続して出題している問題形式であるため、正答率は高かった。過去問題での練習の成果が表れている解答も多かった。
- ◆まず絵を観察して季節を答える。その根拠となるものを絵の中から探し出す。
今回は、すべての受験生が「春」と答えていた。根拠として、「桜」の他に「服装（長袖・色）」を挙げている解答が目立った。両方とも、正解としている。
- ◆根拠として消去法を用いることはできない。「コートを着ていないから冬ではない。」等は、春である根拠ではない。
- ◆文末を「句点（。）」で終えていなかったり、「読点（、）」を適切に使っていないので減点とした答案もあった。
- ◆誤字、脱字も減点の対象となる。縦書きの場合は、算用数字ではなく、漢数字を用いる。

4. 次年度の予定

来年度も例年通り「長文読解問題」「漢字」「その他言葉や表現について」を組み合わせた形式で出題する予定。クリティカルシンキング問題は、複数の情報や資料を比較して自分の見解を述べるなどの思考力型の出題や実生活に応用できる言語運用能力をみる問題として、継続していく。「読む」「書く」「聞く」「話す」が国語の基幹となる力であり、4 技能をバランスよくはかるためにも「聞く」「話す」にも重点を置きたい。そのため、情報を取り込み、表現する力をはかるリスニング問題も継続していく。

【算数】

1. 出題方針

基礎力の確認を目的として、主に3つの観点から作問した。

- ・計算（様々な種類の基本計算ができるか）
- ・図形と規則性（色々な図形や規則性を読み取ることができるか）
- ・表現（自分の考えを数式や文章で表すことができるか）

2. 問題・解答の分析

今回から初めて問題・解答用紙一体の書き込み式問題とした。12月の体験入試に参加した受験生は、入試当日も戸惑いを見せず各自のペースで解いていた。例年に比べて[2]~[4]、[6]の難度がやや上がったことが、全体の平均点に影響したと思われる。

[1]の計算は、多くの受験生がしっかり準備して臨んだことが分かった。しかし(5)と(6)の虫食い算の正答率が6割に届かなかった。答案の途中式を見ると、計算ミスというより逆算の考え方を正しく理解できていない様子が目立った。

[3]の規則性の問題は、特別な公式やテクニックを知っているかどうかを問うのではなく、その場で考える・数えるという算数の基本的な力を見るために出題した。

[5]は予想より正答率が高かった。特に記述問題では、自分の言葉で説明できている答案がいくつか見られた。また、正答には至らなくても、正しく考えた過程が分かる場合は部分点を加えた。

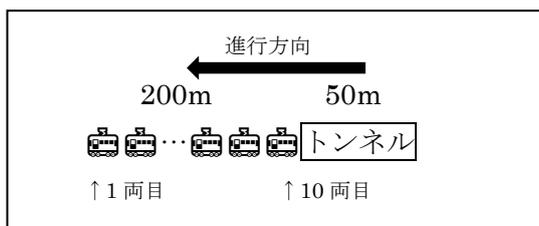
[1] 第2回(5)は、まず $200 \div (2020 - \square) \div 2 = 5$ の波線部分をひとつの \bigcirc として考えると、式は $\bigcirc \div 2 = 5$ となり、 $\bigcirc = 10$ と分かる。次に $200 \div (2020 - \square) = 10$ の二重線部分を \triangle とすると、 $200 \div \triangle = 10$ より $\triangle = 20$ 、よって $2020 - \square = 20$ となり、 $\square = 2000$ が答えとなる。

[2] 第1回(3)は、まず電車の長さが $20 \times 10 = 200\text{m}$ 、時速 $90\text{km} = \text{分速 } 1500\text{m}$ と計算する。

電車がトンネルを通過するという事は、図のように、1両目がトンネルに入った瞬間から10両目がトンネルを抜ける瞬間までを意味している。

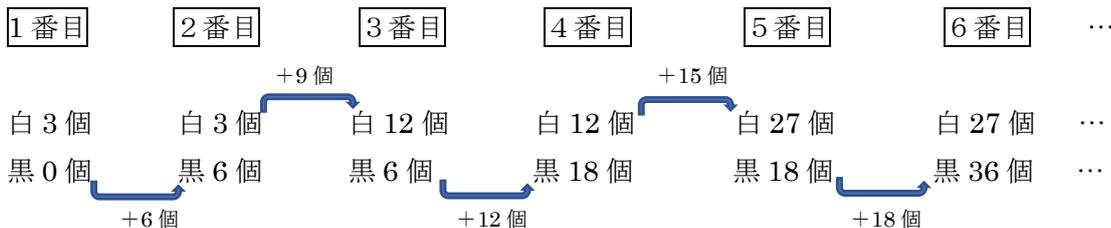
つまり進んだ距離は(電車の長さ) + (トンネルの長さ)なので、通過にかかった時間は $(200 + 50) \div 1500 = \frac{1}{6}$ 分である。

したがって、10秒が答えとなる。



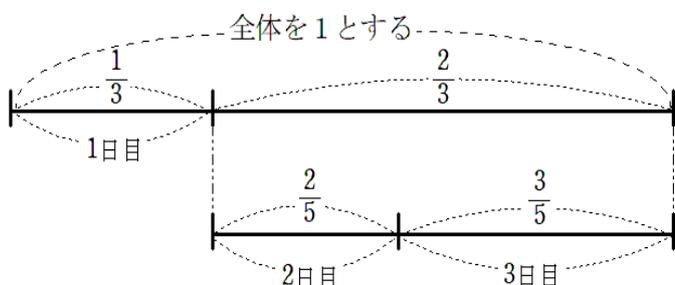
(3)の正答率は全3回とも25%以下であり、時間と速さの単位換算が定着していない様子が見られた。再度、「時速(m) \div 60 = 分速(m)」や、「1分 = 60秒」などの確認が必要である。

[3] 規則性の問題である。第2回では、三角形の一番外側の石の個数が3の倍数ずつ増える。



したがって、(1) 5番目の図形は4番目と比べて白石が15個増え、(2) 6番目の図形では黒石が9個多いことが分かる。

4 全3回とも割合の問題を出題した。第1回は線分図をかくと分かりやすい。



(1) 2日目に読んだページ数の割合は、

$$1 \times \frac{2}{3} \times \frac{2}{5} = \frac{4}{15} \text{ である。}$$

(2) 1日目の割合は $\frac{1}{3}$ 、3日目の割合は

$$1 \times \frac{2}{3} \times \frac{3}{5} = \frac{2}{5} \text{ である。}$$

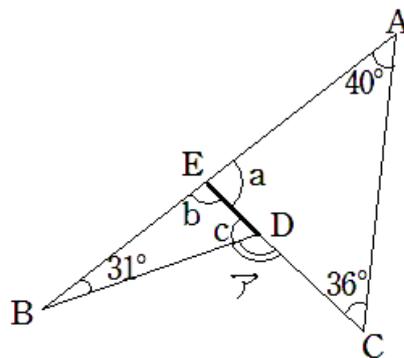
つまり、差の14ページは割合の $\frac{2}{5} - \frac{1}{3} = \frac{1}{15}$ と等しくなる。

よって14ページ=全体の $\frac{1}{15}$ より、本のページ数は $14 \times 15 = 210$ ページとなる。

5 第1回と第3回は平面図形の角度について、第2回は割合・比の計算について、記述問題を含めて出題した。第3回(2)の別解を紹介する。

図のように補助線DEを引くと、三角形AECにおいて $a = 104^\circ$ 、 $\triangle EBD$ において $b = 76^\circ$ 、 $c = 73^\circ$ と分かる。

以上より、 $\text{ア} = 180^\circ - 73^\circ = 107^\circ$ である。



3. 2021年度入試に向けて

次の3点に留意しながら、算数の基礎力を身につけてほしい。

- ① 計算力を上げる
- ② 色々な種類の図形・規則性問題やグラフの問題を解く
- ③ 問題を解く過程を数式や自分の言葉で表現できるようにする

特に③では、受験生が小学校6年間で培った算数的な思考力・表現力を測りたいと考えている。

また、算数は日常生活の中でたくさん使われている。来年度も算数と日常の結びつきを意識しながら作問する予定である。

【総合】

1. 出題方針

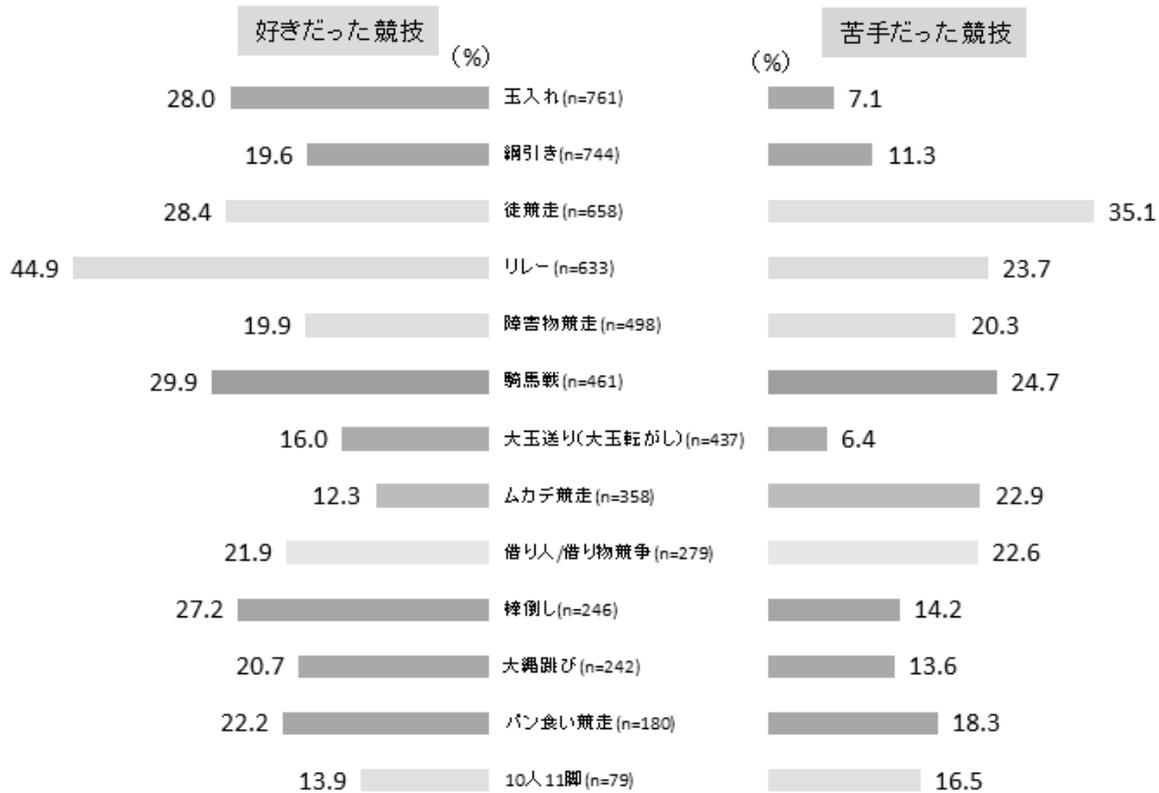
【総合】では、聖ヨゼフ学園の持つ基本精神「カトリックの教えに基づく愛の心の涵養」から、関心を持たせたい自然科学的・社会科学的事象などを題材として扱う。知識・理解を問うだけでなく、文章・図・表に示された内容を活用し解答を導き出したり、読み取った事柄を生活に結び付けて考え自分の意見を簡潔に表現したりするなど、出題方法は多岐にわたる。

2. 問題の解答・分析

2020年【総合】 ②より例題

信さん：もう一つの資料も見て。

【好きだった競技と苦手だった競技は？】



ベース：各競技経験者

(ドコモ・インサイトマーケティング 「小学生の頃の懐かしい思い出！「運動会」についての調査」結果

<http://www.dcm-im.com/service/research/report/2018/05/000032.html> より)

望さん：「苦手だった競技」では、徒競走の割合が最も高いけれど、「好きだった競技」はリレーの割合が一番高いね。C どちらも走る競技なのに、こんなふうには差が出たのはどうしてかしら。

愛さん：確かにどちらも走る競技だけれど、二つの競技内容に違うところもあるよね。・・・①

望さん：アンケートに回答したのが、競技の出場者だけだとも限らないものね。・・・②

信さん：質問が「好き」「嫌い」ではなくて、「好き」と「苦手」というのも、こういうアンケート結果が出た理由かもしれないね。・・・③

愛さん：そうね。見方を変えると色々な考えが浮かんでくるね。

望さん：そうやって考えてみると、D みんなが同じように楽しめる競技ってどんなものかしら。走るの好きな人、踊るのが好きな人、観るのが好きな人、色々な人がいるからね。みんなで楽しむとなると、なかなか難しいわよね。

信さん：それならいくつか競技を合わせてみるといいのかな。自分はこれが「嫌い」「苦手」と思い込んで、苦手意識を持っているだけのものもあるんじゃないかな。どんなこともチャレンジしてみると、自分が思っていたよりも楽しめたりするものだよ。

愛さん：なるほど。運動が得意な人も不得意な人も、男の子も女の子も関係なく、そして応援している人も楽しめるような競技があるといいよね！ よし、みんなで考えてみようよ！

問8 下線部C _____ について、なぜこのように差が出たのだと考えますか。3人の会話から、発言①・②・③を参考にして書きなさい。

問9 あなたが愛さん達と一緒に新しい競技を考えるとしたら、どのような競技を提案しますか。下線部D _____ の望さんの言葉にあるような運動会の競技を下の条件をふまえて考え、①競技名、競技内容とルール、②「誰でも楽しめそう」と思ったポイントの2つを説明しなさい。①の説明には図を加えても構いません。

◎条件

- ✓ 男の子と女の子が一緒に参加できること。
- ✓ 男の子と女の子の接触がないこと。
- ✓ 運動が得意な子も不得意な子も楽しめそうであること。
- ✓ 必要な道具は何でも用意できることとする。

[総合] では、①は「オリンピックの持つ意味と意義」、②では「ユニバーサルな心」を大きなテーマとし、いずれも身近なものから、少しずつ自分に照らしあわせて考えていくことをねらいとした。

②においては、『運動会』を題材に取り上げ、①「違いに気づく」ことから ②「異なるものを認める」という順で、考えを深めていった。身近な題材だったこともあり、しっかりと文章や資料から読み取って解答していた。以下は解答例と採点基準である。

<解答例・採点基準>

問8

個人競技である徒競走は、走ることが得意でない人には苦手に思える競技だけれど、リレーはチームとして応援する楽しさもあり、走ることが苦手な人にとっても好きな競技になることもあるから。

配点：6点 評価基準

- ・ ①・②・③の会話から徒競走とリレーの特性をまとめたうえで「差」の根拠を示し説明している…6点
- ・ 徒競走とリレーの特性を述べている、またはどちらかのみで「差」の根拠を示し説明している…4点
- ・ 徒競走もしくはリレーの特性のみ示している。…2点

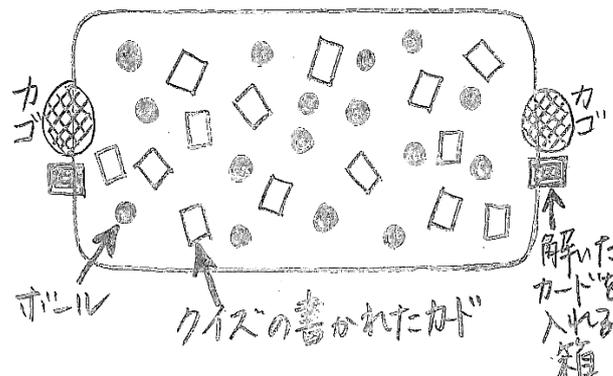
(※4点・2点の解答には加点もあり)

問9

①競技名 バラまきクイズに答えてボールをゲット!

競技内容とルール

- ・ 1チームは5人。2チームで競う。
 - ・ 校庭にはクイズとボールがバラまかれている。
- (1)合図で一斉にスタートする。カードをめくり、クイズを見る。



- (2)クイズの答えに応じた数の分のボールを拾い集めて、自分のチームのカゴに入れる。
カードは横の箱に入れる。
- (3)時間終了でクイズの答えの合計数とカゴの中のボールの数が合っているかを確認する。数が正しければその数が得点となるが、間違っていたら逆に点が引かれる。

- (4)クイズの答えは応援者や他の競技者に聞いてもよい。

②「誰でも楽しめそう」と思ったポイント

- * 応援者は見るだけでなく参加もできて、一体感を楽しめる。
- * わからないカードは戻せるので、自分の答えられるカードを探することができる
- * 最後まで結果がわからない。
- * 一発大逆転が可能である。

配点：8点 評価基準

★①競技名・内容・ルール

競技名・内容・ルールが書かれている	2点
競技名・内容・ルールのいずれかが書かれている	1点
競技名・内容・ルールが書かれていない	0点

★②「誰でも楽しめそう」と思ったポイント

競技者・応援者ともに楽しめるポイントが整合性を持って書かれている	6点
競技者・応援者ともに楽しめるポイントが書かれている	4点 (加点あり)
競技者もしくは応援者のどちらかの楽しめるポイントが書かれている	2点 (加点あり)
ポイントが書かれていない	0点

3. 2021年度入試に向けて

2020年度の入試問題は記述においては体験や経験をふまえて解く、というよりむしろ資料の分析や読み取りの割合が多かったため、受験生にとっては取り組みにくかったようである。2021年度入試においてはもう少し受験生に寄り添えるような問題にしたいと考えている。内容としては聖ヨゼフ学園の基本精神に基づくものを取り上げていく。

[総合]では、問題に触れたことが気付きとなり、新たな興味・関心に発展していくことを期待して出題している。これまでの学習成果を活用しながら、解き進めていく中で分かったこと、考えたことが新たな知識となり、それをもとに更に解き進めていくことができるよう構成している。第一問から最終問に向かう全体の流れをつかむことを意識して、前年までの出題内容を見直してみると良いだろう。

いずれにしても、受験生が『考えやすいように』『文章で表現しやすいように』、という視点をもって作問及び採点をしている。『感じる』『考える』『表現する』という傾向は継続して2021年度も出題していく。

【社会】

1. 出題方針

- (1) 教科書の範囲内からの出題
- (2) 歴史・地理・公民の3分野から出題
 - ◎ 歴史：大きな時代の流れと、時代ごとのおおまかなようすをつかむ。
 - ◎ 地理：資料（問題文・地図・表など）に書かれている内容を読み取る。
 - ◎ 公民：時事問題をベースに基礎知識を確認する。
- (3) 大問は2題。3分野が融合した問題。

2. 問題・解答の分析

多くの受験生は、教科書の基本的内容はおさえているが、定着の甘さが見られた。そのため、基礎的事項を直接的に問うものには的確な解答ができるものの、順を追って物事を思考したり資料を活用する問いでは正答率が低かった。特に、文章以外に視覚的にとらえる資料が提示された問いについては、資料を用いず、自分の持っている知識だけで解こうとする受験生が多く見られた。日頃から、ていねいにものごとを見つめ、踏み込んでさまざまな事象の背景や因果関係に目を向けたり、横断的に考える習慣をつけてほしい。

① 歴史・公民の融合問題

改元を題材に、日本の歴史や現代社会のしくみを考える問題である。問1～問3は、歴史上の改元を通してさまざまな変革について出題した。各時代の象徴的なことがらや転機となる出来事を取り上げており、正答率が高かった。また、問5・問6については、改元に関わるさまざまな資料を通じて政治のしくみを確認する問題である。これらも基本的知識が問われており、比較的よく解答できていた。しかし、現代日本の姿について考察する問8では、新聞記事に示されたことがらが、社会のどのような現象と関連しているのか、どのような対策がどのような効果を持つのか等、想像し推測する力が必要である。

時事問題については、何が起きているかを知ることに加え、その背景やそれが与える影響に対する視点が必要である。日々の生活において、社会的事象が何によるものであるか、何にどう影響するのか等を、推測し想像する力をやしなう取り組みを意識的に行ってほしい。

② 地理・歴史の融合問題

実は身近に利用されている硫黄を通して、日本の自然環境や歴史、そして資源の利用や開発のあり方を考える問題である。問1【3】は、複数の資料を照らし合わせながら、日本の地熱資源の現状・開発について読み解いていく問題である。この問題では、資料に目を通さずに書いている解答が多く見られた。問2は歴史分野であったが、【1】～【3】は細かな知識は無くても、各時代の特徴をふまえていれば解ける問題である。一方、【4】は江戸時代の幕府政策の目的を考える問題であったが、暗記に頼った学習では対応ができない。歴史上のさまざまな政策は、何をしたかを覚えるだけでなく、何のためにそれが行なわれたかという視点が大切である。問3は閉鎖された硫黄鉱山を題材に、人間の生活と開発・環境との関連について考えるものである。こちらも、何がどのような現象を引き起こすのかという想像力や、個人ではなく社会全体への広い視野が必要となる問題である。特に【3】は、①新聞記事に示された「資源利用と私たちの生活とのつながり」を踏まえながら、②これからの開発について自分の考えを書くものであつ

た。この問いには、①あるいは②のみに対する考えを書いたものが多く、①②を踏まえたものが少なかった。少し長めの文章でも、その全体から何が問われているかを正確に読み取る力をつけておきたい。

3. 2021 年度入試について

歴史・地理・公民の3分野を融合した大問2つという形態は、来年度も継続の予定である。異なる分野のように見えるが、「社会科」という同一の科目である。身近にある一つひとつのものすべてが自分たちに関わっている、決して一人ではない、ということに気づくのが社会である。だからこそさまざまなことに目を向け考えてほしい。この形態の問題は、1つのことがらについてさまざまな角度から見つめることによって、ものごとのつながりを柔軟に思考し、より正確で深い理解にいたることが目的である。

どの分野も教科書の範囲内からの出題となる。歴史においては、歴史用語の暗記にとどまらず、教科書に掲載されている写真や図、資料集を大いに活用し、その背景まで理解しておくことが必要である。地理・公民は読み取りが多いため、じっくりと資料やグラフ・文章を読む訓練をしてほしい。時事問題に関しては、日頃から小学生新聞などを活用し、教科書で得た知識が現実の世の中の動きと結びつくようにしておく方が良い。そして、それがより身近な問題として考えられるようになるとより良い。

また、全分野に共通し、「何を知っているか」「何が示されているか」に加え、「示されたものから何が分かるか」「情報の関連性を自ら見つけ出すこと」に向き合う学習を意識的に行ってほしい。

以下の4点ができるようになると良いが、②～④を偏りなく行なうためにも、まずは①を土台としたい。

- ① 細かな作業にも、じっくり取り組む姿勢を養う。
- ② 課題の意義やねらいを適切に解釈する力をつける。
- ③ 多くの視点から、柔軟に考える力をつける。
- ④ 必要な技術や情報を選び使用する力をつける。

【理科】

1. 出題の方針

- ① 小学生として知っていなくてはならない基本的な科学的な知識
- ② グラフや表、または与えられた資料などから情報を読み取る力
- ③ 基本的な計算力と文章力

2. 入試分析・アドバイス

今年度は大問を1題とし、その中で物理・化学・生物・地学の4分野の内容を含め、日常生活と理科との関わりを意識した問題を作成した。

問1～問9は、地学と物理を中心とした分野の融合問題だった。低気圧が動く向きについては、日常の天気予報に親しんでいれば容易だったことと思う。問4と問5は、落ち着いて着実に計算してほしい。山や島などの土地のでき方については、火山が関係しているかどうかが重要である。問9の北の空の星の動きについては、良く出題される分野なので、実際に観察してみよう。

問10～問15は、絶滅危惧種2類に指定されている「小田原メダカ」に関する生物分野の問題だった。生物分野は毎年正答率が高いが、問12の「卵からかえったばかりのメダカの様子を問う」問題の正答率が最も低く3割ほどしかなかった。メダカは、腹に栄養の入った袋をつけて生まれてくるので、しばらくは自分でエサをとる必要がないので水そうの底の方でじっとしている。メダカは家庭でも買いやすいので、ぜひ一度飼育して自分の目で確かめてみよう。

問16～問19は、箱根の温泉や火山について化学的に考える問題だった。問16の水溶液の酸性・中性・アルカリ性の性質についての基本的なことはしっかり身につけていた。また、問17、18のpHという新しい考えについては、与えられた資料からよく読み取ることができていた。問19は火山の危険性に関することだったが、正答率が最も低く3割ほどだった。火山や温泉地に行くと卵の腐ったようなにおいがするが、あれは硫化水素という有毒ガスで、重くて風通しの悪いところにたまってしまう。「立ち入り禁止」にも、化学的な根拠がある。

3. 2021年度入試に向けて

まずは、教科書をよく読み、理解すること。理科の問題を解くには思考力が必要であり、用語などを暗記するだけでなく、グラフや表、または資料などの情報の読み取りに慣れるようにしてほしい。また、記述問題や比例などの計算問題は必ず出題するので、過去の入試問題を参考に練習すること。さらに、入試前1年間の科学に関するトピック的なニュースや自然現象なども意識して、理解する必要がある。

2. 中学入試合格者体験記

【受験生より】

「僕の受験体験」

(K.I)

僕が、聖ヨゼフ学園の受験を決めたのは夏休み前ごろでした。学校説明会などを聞いて、ぜひ、受けてみたいと思いました。

ただ、僕が受験をしようと思った時期は、遅かったため、塾では授業についていけないと思いました。そこで、両親とも相談し、塾に行かず、家で勉強をすることを絞ってやることにしました。

僕が受験までに頑張った事は、苦手な所を繰り返し何度もやり直す事でした。だけど、それだけでは足りないで、得意なところは、もっと点数が取れるようケアレスミスをなくす努力をしました。僕の場合は書店に売っている算数の計算の基礎ドリル、図形問題のドリル、漢字ドリル、文章問題ドリルをやりました。おかげで学校のテストの点数も上がっていき、自信につながりました。

また、模試を受けて、自分が今どの位のレベルにいるのかを確認しました。

初めは、あまりにもひどく、とてもがっかりしました。だけど、基礎を出来るだけやって、模試に再挑戦しました。そうすると、前回よりも点数と偏差値が上がって自信につながりました。ただ、12月の最後の模試でも聖ヨゼフ学園の合格率は低く、少し不安でした。初めは4科受験を考えていましたが、あまり時間がないので両親と相談し2科に絞ることにしました。冬休みに、説明会の時にもらった聖ヨゼフ学園の過去問を2回ずつやってみました。その他にも書店で買った試験対策問題集を時間を計りながらやってみました。解けなかったり、分からないところは、両親や姉にも教えてもらいました。

1月に宮崎日大中学の受験に挑戦し、合格したことは大きな自信につながりました。それでもまだ不安な所があったので、その問題集を受験の前日までやり続けました。あと、学校の説明会と学校の受験対策はほぼ全部参加しました。

自分なりに頑張ったつもりですが受験当日はケアレスミスを沢山してしまい、自信がありませんでした。でも何とか合格出来て、とてもうれしかったです。

【保護者より】

「中学受験は家族最大の作戦!？」

わが子(長男)が受験をしたいと思ったきっかけは、学校説明会でした。受験をする子供たちは、遅くとも6年生に上がる直前の春休みから受験勉強をスタートさせます。ただ、彼が受験を意識したのはいわゆる「天王山」と言われる夏休み直前でした。2年前に長女の受験を経験していたため、受験勉強に着手するタイミングが完全に遅く、当初は「難しいなあ」と思っておりました。当時の彼の学校のテストの点数を見ると、とても受験できるレベルではありませんでした。その様な状況でも、彼自身のモチベーションはその学校に行きたい、通ってみたいという気持ちをもっており、どこまで具体的に援護してあげられるかを考えました。正直、塾も考えましたが、夏前では塾の勉強についていけないことは、長女の受験の時の塾の進み方で理解していました。(夏休みはいわゆる受験問題を実際に解くところまで進んでいるのが普通です。)

まず初めに模試を受けさせました。沢山いる中学受験生の中で、今自分がどこにいるのか、何ができないの

か、希望と現実のギャップを意識させることでした。姉を見ていたため、少し甘い考えをもっていた彼にはいい薬だったと思います。結果を見て落胆し悔しがる彼の姿を見て、きっと意識が変わると信じ、厳しい事も言いました。

次に何が出来て何が出来なかったのか、実際に受けた問題を一緒に解くことで、更にどこまで理解して、何を理解していないのかを知りました。

妻や本人とも相談し、まずは6年生までの取りこぼしを克服するよう、市販の簡単な基礎ドリルを夏休み中に実施するようにしました。具体的には算数で言えば四則計算、分数、小数の理解であり、国語で言えば、漢字・慣用句と文章を読む力（速さや理解力）です。教科書に沿ったドリルを中心に実施しました。学校のテストでも点数が上がってきており、基礎の重要性を再認識しました。

秋に再度模試を受けた際は、苦手な分野がさらに明確になりました。国語については点数が上がってきました。冬休み前まではいわゆる小学校の問題の振り返りを中心に勉強していました。算数はケアレスミスが多く、問題を解く経験の少なさを実感し、問題数をこなすことを中心に勉強してもらいました。とはいえ、遊びたい盛りですので集中力が続きません。初めは厳しく制限していたゲームなども時間を決めて許可していました。制限はしましたが、好きなことも、息抜きさせることも必要です。

冬休み前、最後の模試を受け、結果を見て、いわゆる受験問題の経験不足を実感。よく言う〇〇算と言われるものや図形・角度問題、国語で言えば、「一線部の理由」「登場人物の心情」といったよく受験に出る問題です。そこで、頂いた過去問のほか、「旺文社のでる順問題集」を購入。市販の問題集はカテゴリーに分かれているものを選び全部やるのではなく、特に受験校の出題傾向に近いレベルの設問に絞って実施。難関校の問題は時間があればやってみるというようにし、1日の実施ページを指定。時間を計って実施させました。

冬休みが明けてからは、彼の進捗状況を見て実際どの学校を受けるか、第二志望、第三志望位まで考え、各校の予想偏差値（難易度）、受験申し込み日、試験日程、手続日程までを表にまとめました。

1月に力試しに受けた宮崎日大では、点数こそあまり良くなかったですが受かった事はとても大きな自信につながり、また、やってきた事が無駄ではなかったという経験につながったとおもいます。聖ヨゼフ学園の受験前日までは、過去問を中心に受験問題を時間を計って解く練習に徹していました。最後に合格の通知を見たときは、思いっきりほめてあげました。

受験生としての実感が無い本人には受験の厳しさや希望に向かって努力する大切さを分かってほしく、非常に厳しいことも言いましたし、叱りもしました。思い通りに結果が出なかったときやついつい勉強から逃げようとしたときは、かなり厳しい事も言いましたが、そこであきらめなかった事が今日の彼につながっていると思います。今回は結果がついてきた事で本当に喜ばしい事です。この長い受験勉強の時間を通じ、勉強する習慣が付いたことが一番の収穫だと思います。宿題すら忘れる子がこの1年で本当によく頑張ったと思います。今後の彼の人生の中で、中学受験という目標に向かって頑張った経験は非常に大きな糧になると思います。

親が出来ることは、たいしてありません。子供が自らの意思で一度やると決めたことを叱ったり、褒めたりして最後までやらせる、投げ出させない事だと思います。また子供の問題も実際に親が解いてみる事、勉強することだと思います。親が分からない出来ないものをやれと言ってもやりませんし、一緒にやってみる事で、子供が理解していないところ、躓きやすいところがわかってきます。ある講演で子供の学力は、受験前日まで伸ばすことが出来ると伺いました。高校受験と違い周りがすべて受験する雰囲気ではありませんし、一緒に遊びたいお友達もたくさんおります。すぐにサボろうとするのは仕方がない事です。本当に彼が一番伸びたのは冬休みになってからだと思います。とても大変でしたが最後まで乗り切る為、末の次男は兄のために一番我慢したと思います。本当に家族皆で協力した1年だったと思います。

3. 2020年度中学入試結果

受験方式	帰国生	一 般				総合型	総計
		第1回	第2回	第3回			
日 程	12月1日	2月1日		2月2日	2月3日	2月1日	
	1月6日	午前		午前	午前		
科目数	1科目	4科目	2科目	2科目	2科目	1科目	
募集人数	5	15		10	10	10	50
出願者数	6	6	13	27	25	16	93 (男43女50)
受験者数	4	6	11	8	4	15	48 (男20女28)
合格者数	4	6	9	4	4	13	40 (男17女23)
入学者数	3	6	9	1	3	2	24 (男11女13)
合格最低点	非公表	164	81	108	79	46	

一 般		第1回		第2回		第3回	
科目名	満点	最高点	平均点	最高点	平均点	最高点	平均点
国 語	100	73	52.8	92	61.8	62	53.5
算 数	100	92	52.0	76	46.9	63	44.3
社 会	50	35	26.3				
理 科	50	41	34.2				
2科目	200	156	104.8	168	108.6	110	97.8
4科目	300	221	191.0				

総合・グループワーク型 *グループ面談の配点(20点)を含みます。

科目名	満点	最高点	平均点
総 合	120	83	64.1

4. 進路指導及び結果

◎聖ヨゼフ学園の進路指導

本校卒業生の進路は、四年制大学・短期大学・専門学校・留学など多岐にわたり、その内容も文系から理系まで、あらゆる分野に及んでいることが特徴といえます。

本校では6年間の学園生活を通じて、自らの力で考え、自分にふさわしい進路選択をすることができるように指導しています。また高校2年生以上の選択授業では、少人数であっても希望の講座を開講するなど、生徒の進学希望に応じたサポート体制をとっています。その結果、生徒は自分の持っている可能性をさらに伸ばし、進路選択の幅を広げることができます。

昨今の大学入試事情の変化に対応し、生徒の進路実現のため、それぞれの入試の方式に応じた論文指導や面接指導など様々な指導体制で臨んでいます。

上記のような指導体制の結果、近年は四年制大学への現役進学は8割を超えており、2020年度は83%に達しました。また国公立大学、難関私立大学へ一般入試で挑戦する生徒も増加し、着実に実績を伸ばしています。2020年入試結果については別紙**（進学者資料含むB4サイズ）**の通りです。

今年度の特徴

1. 四年制大学進学率83%。難関大学にも多くの合格者。
→国公立大・早慶上理に12名合格。
2. 医歯薬系大学合格者多数。
→医歯薬看護に10名が合格。
3. キリスト教系大学に多くの進学者。
→上智大学5名、白百合女子大5名、聖心女子大3名を含み、卒業生の3分の1が進学。

指導体制

1. 進路説明会
高等学校では各学年で保護者対象の進路説明会を実施しています。生徒はLHR、総合的な学習の時間を利用して進路学習の時間が豊富に用意されています。
2. 進路適性検査
高校1年生、高校2年生では大学の学部学科選択のため、また将来を見据えた観点から適性検査を実施しています。

3. 充実した各科目の放課後補習

高校3年生を中心に、各科目のセンター試験対策などの補習が長期休暇を利用して行なわれています。また、平日の放課後は19:00まで自習が可能です。

4. 外部テスト（模試）

高校生になると、年に3～4回、外部テスト（進研模試）を全員が受験します。高校2年生の冬以降では計3回、土曜日に希望者が模試を受験できるように設定しています。

5. 小論文指導

各学年で、国語の授業等を利用して小論文の指導および模試（添削指導）を実施しています。また、入試で小論文が必要な高校3年生に対しては、個別指導を行っています。

6. 卒業生による進路講話および講演会

中学3年生では、社会で活躍している卒業生を招いてキャリア・ガイダンスを行ないます。高校生に対しては、現役大学生を招いて、文理選択、受験に関する相談会の機会を多数設けています。

指定校推薦について

約半数の生徒が秋に推薦入試（指定校および一般公募）、AO入試を受験しますが、推薦・AOで進学できる大学は限られてしまうことも事実です。国公立および難関私大では推薦・AOの定員はごく少なく、センター試験を受けて一般入試を受験する以外に進学の方法はありません。現在の聖ヨゼフ学園では、実力をつけて一般入試で難関大に挑戦しようとする生徒が増加しています。学校としては、このような生徒を最大限にバックアップしていきます。

一方、カトリック系女子大を中心とした指定校も根強い人気を保っています。推薦・AO入試では志望理由書の添削指導、模擬面接などが重要なポイントですので、過去のデータに基づいた個別の手厚い指導が聖ヨゼフ学園の進路指導の特徴です。

【主な四年制大学指定校推薦枠】

<姉妹校推薦>

白百合女子大学

<指定校推薦>

四年制大学：**上智大学（カトリック特別推薦）、聖心女子大学（人数枠なし無制限の推薦）**

中央大学、明治学院大学、清泉女子大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、麻布大学、大妻女子大学、神奈川工科大学、鎌倉女子大学、関東学院大学、恵泉女学園大学、共立女子大学、工学院大学、駒沢女子大学、相模女子大学、実践女子大学、女子美術大学、昭和音楽大学、聖徳大学、洗足学園音楽大学、専修大学、多摩大学、玉川大学、鶴見大学、帝京大学、帝京科学大学、帝京平成大学、田園調布大学、東京医療保健大学、東京家政大学、東京家政学院大学、東京工科大学、東京工芸大学、東京聖栄大学、東京電機大学、東京福祉大学、東京農業大学、東洋学園大学、文教大学、武蔵大学、目白大学、横浜商科大学、横浜創英大学、横浜美術大学、横浜薬科大学、立正大学、立命館大学、他

5. 2020年度大学受験体験記(校内進路指導資料より)

◎卒業生から後輩へのメッセージ ～小規模であるがゆえの縦のつながり～

【横浜市立大学 国際商学部 国際商学科 (AO) Y.0】

①勉強法 (AO 準備も含む)

夏休みの間は、平日は 9 時～18 時まで学校で一般の勉強を進めつつ先生方に AO の書類の添削や構想を練るなど手伝っていただき、家に帰ってからは翌日に差し支えない程度に書類制作を進めていました。休日は近くの地区センターで同じように勉強し、家に帰り書類制作を進めるという生活を送りました。

〈一般の勉強〉

国公立を第一希望校にしていたので、とにかくセンター試験の内容を中心に勉強していました。現代文はひたすらセンター試験過去問題集を解き、文章に慣れるようにしていました。古典は学校で配られた教材をひたすら周回して覚え、たまにセンター試験過去問題集を解くようにしていました。世界史は、時代や地域ごとに年表を作ったりしました。

〈AO の準備〉

一次選考での審査基準は英語の資格 (英検や TOEFL、GTEC) のスコア、プレゼンテーションの発表概要 1 (これまでの活動や取り組みで自己評価できるものについて)、概要 2 (志望理由書) でした。二次選考での審査基準は、上記の概要 1、2 に沿った 10 分のプレゼンテーションとそれに関する質疑や学部に関連した基礎知識などの質問を含む面接でした。

事前の AO 入試説明会で、AO 入試担当の方が「どれだけ英語のスコアや評定が高くても (概要 1、2 やプレゼン自体が) 面白くなければ遠慮なく落とす」とおっしゃっていたため、概要 1、2 の制作に特に力を入れました。

内容の構想は 5 月中旬ごろから始め、書類制作は前期中間テストが終わってからすぐに取り掛かりました。一次選考で合格を頂いたあとはすぐプレゼンテーションに使う模造紙や原稿を作成し、先生方の全面的なご協力のもと、ほぼ毎日空き教室を使いプレゼンの練習や面接の練習をしました。

②勉強と部活動の両立

高 1 から部活には入っておらず課外教室のみ参加していたので、息抜き程度に隔週の稽古には参加していました。

③勉強と塾の両立

高 2 から塾で世界史や数学の指導をお願いしていましたが、私には自学自習が合っていたため、また AO 入試の準備が始まり忙しくなるだろうと思い、高 3 進級後は学校の進路指導室や放課後の自習室を利用して自習していました。

④役に立った参考書・問題集

全科目共通：センター試験過去問題集

英語：Next Stage、Data Base、Cutting Edge (長文対策問題集)

古典 : みるみる覚える古文単語、漢文の習得

世界史 : 資料集 (教科書で覚えるのが不得意だったため)、授業プリント、自作まとめノート、
世界史用語集 (山川)、センター試験への道 (山川)

⑤後輩へのメッセージ

私はもともと一般のみでの受験を考えていましたが、最後のセンター試験の年と言われていたため現役で受かりたいという気持ちが強く、一般だけでの受験は不安だったので、受験方法を増やすために高3進級時に第一希望校のAO入試の受験を考え始めました。

AO入試で合格を頂くには莫大な時間と労力が必要です。精神力も削られます。私の場合、出願期限が9月頭だったので夏休みを丸々使えば焦らずに制作できだろうと安直な考えでいました。出願にはもちろん間に合いましたが、概要1の書類はA4のコピー用紙2枚以内という制限があり、そのたった2枚の書類を作るために一般の勉強の傍ら、夏休み中毎日5時間以上、長くて半日はその書類のWordの画面とにらみ合っていました。眼精疲労が特にひどかった時期です。

もちろん大学ごとに選抜方法は違いますし受験者ごとに内容は違うため、AO受験はこういうものだ！と一概には言えないですが、**AO受験だったら楽に受かると思わない方が身のためかもしれません。**

受験期間中は(きっと)誰でも辛い思いをしています。だからと言ってうまくいかないときに思いつめすぎるとただただ辛い日々になります。受験準備や勉強を息抜きなしでするのは本当に苦痛ですし長続きしません。**自分なりの受験準備・勉強サイクルをできるだけ早めに身に着け、友達と駄弁ったり美味しいごはんを食べたりして適度に息抜きをしながら受験に挑んでください。**

悔いの残らないに力を出し切る勢いで頑張ってください！応援してます！！

【早稲田大学 法学部（一般）Y.N】

①勉強法

- ・英文法や古典文法などの基礎は、あまり特別な勉強法は必要ないと思います。英単語や古文単語などの暗記物は小テストを受けていればそのうち身につきます。ヨゼフでは小テストの範囲を繰り返すので問題ないです。肝心なことは、反復することです。もちろん英国双方ともに読解の練習などで、文章中に知らない言葉が出てくるとはありますが、それはその時々学習していけば十分です。
同じく英文法、古典文法も基本的には覚えるものなので、とにかく反復が重要です。繰り返し学習することで身につきます。
- ・英文読解や現代文、古文読解は、基本的に「文章を読める」ことが基礎以前に必要なので、とにかく「読む」ことに慣れていくべきです。中3、高1のうちに日本語でも英語でも文章は文章なのでラノベでも何でも読んでおいた方がいいと思います。推理小説なんかは「論理的に読む」ことの練習になるのでおすすめです。興味のある分野の新書を読んでみるといいと思います。
- ・社会科(世界史)の学習は「忘れない」ことです。その日の授業で習ったことを次の授業の時に忘れてはいつまでも歴史が繋がらないし、力になりません。物事と物事の因果を理解することが特に重要です。なので、とにかく習ったことの因果関係を整理しておくべきです。定期テストの対策として、テスト範囲を逆順に振り返り、出来事の原因をさかのぼってみることもおすすめです。ぜひやってみてください。
- ・どの科目にも共通なこととしては、ヨゼフの授業ではすごく基礎的なことを重点的に教わるので、何にでも応用できる力になるということです。どの教科でも、ただ、受験で特に必要な力を重点的に伸ばすなら、やはり予備校は便利な存在だと思います。

②勉強と部活の両立

引退が早かったのであまり両立を考えることはしませんでした。高1高2の頃は部活帰りに塾で勉強するとへとへとでしたが、受験は体力も必要なので体力づくりとして練習しとくのはいいかもしれません。

③勉強と塾の両立

塾では基礎講座は受講せず、より実践的な演習講座を受講しました。基礎は学校の授業で十分だと思います。塾で勉強するメリットが一番大きかったのは社会科(世界史)で、塾の基礎講座→学校の授業→塾の応用講座→学校の定期テスト、という順番になるようにスケジュールを組み、自動的に反復できるように、学校と塾を回していました。限られた時間で力をつけなければいけないので、できるだけ効率的な学習を心がけました。

それから、受験科目でない授業でも、授業で習ったことが英文や評論の題材になることもあるので(実際、受験の本番でありました)、まじめに聞いていた方がいいです。

④役に立った参考書・問題集

- ・世界史用語集 山川出版社
判る！解ける！書ける！世界史論述 河合出版
全レベル問題集世界史 B 4 私大上位・最難関 旺文社
全国大学入試問題正解 世界史 旺文社
- ・RANDOM CHALLENGE 600 Advanced いいずな書店

Next Stage 桐原書店

全国大学入試問題正解 英語 旺文社

・上級入試漢字 桐原書店

全レベル問題集 現代文 5 私大最難関レベル

全レベル問題集 古文 4 私大最難関・国公立レベル

全国大学入試問題正解 国語 旺文社

⑤後輩へのメッセージ

もし、少しでも大学を一般受験する気持ちがあるのなら、できるだけ早く勉強に意識を向けるか、勉強し始めた方がいいです。

早くから勉強を始めることのメリット一つは、時間があることです。勉強は時間をかけて、自分に合った方法で学べば、必ず力になるものです。私は反復することが一番力になると思っているので(海馬の働きの)、時間があればあるだけ確実に身になる勉強ができると思います。中3高1のうちには学校の勉強に追加で勉強をする必要はほぼなく、ヨゼフの授業で学ぶこと(基礎)をきちんと身に付けて小テストをまじめにこなしていれば基礎の力は十分です。その上で自分に必要だと思うもの(応用)を+αの教材なり塾なりで得られればいいと思います。

もう一つメリットは、偏差値を上げやすいことです。大学受験をするとなると、偏差値から逃れることはできません。ただ、偏差値は絶対的なものでなく相対的なものなので、周りと同じだけ勉強しても上がりません。受験生はだいたい高3になると勉強しだすもので、みんなが勉強するようになってから偏差値を上げるのは難しいです。ですが、中3、高1からちゃんと勉強する人はまあ多くはありません。周りが勉強していなければ偏差値を上げるのは容易いことです。平均点よりも上の点数が取ればよいのです。ただ、進研模試はかなり偏差値が高く出るので(私は河合塾や東進の模試に比べ+5~10くらいだと思いました)進研模試以外の模試を受けてみるのをオススメします。

⑥進学大学学部学科とその他の合格した大学学部学科

進学先：早稲田大学法学部

その他：東京都立大学法学部、上智大学法学部、中央大学法学部、明治大学法学部、法政大学法学部、
明治学院大学法学部、成蹊大学法学部、日本大学法学部、東洋大学法学部、神奈川大学法学部

【慶應義塾大学 文学部（一般）A.0】

①勉強法

私の受験科目は英語と日本史、小論文でした。英語は DataBase4500 と Next Stage を活用して、単語とイディオムなどの知識をできるだけ増やすようにしていました。また英作文は過去問を使って練習していました。日本史は主に資料集と一問一答を使い、ひたすら書いて覚えるようにしていました。苦手なところは資料集に印を付けるなどし、その部分を繰り返し覚える努力をしました。小論文は過去問を使い、書く練習をしました。また、私は自己推薦で慶應の文学部を受験していて、その際に、ヨゼフの国語科の先生に小論文を書く指導をしていただいていたと思います。その時は残念ながら不合格という結果でしたが、その時の勉強が一般受験にも大きく役に立ったと思います。

②勉強と部活動の両立

私は高3の5月に部活を引退したのですが、8月に受験を決めたこともあり、受験に影響が出るということはありませんでした。また、課外活動の華道は高3の12月まで続けていました。こちらも受験に影響は出ず、むしろちょうどいい息抜きになっていたと思います。ただ、個人的に習っていたピアノは、移動時間がかかることもあり9月末まででやめました。

③役に立った参考書・問題集

英語：DataBase4500・Next Stage・過去問

日本史：学校で使っていた教科書・学校で使っていた資料集・入試に出る日本史B一問一答（Z会出版）

小論文：過去問

④後輩へのメッセージ

不安になることもあるかもしれませんが、**その不安を無くすためにも努力を続けてください**。また、私は基本的に書いて覚えていたのですが、自分に合った効率の良い勉強法を見つけることが大切です。そして、試験の直前まで勉強することも大事です。私は、日本史で直前まで見ていた教科書の内容が試験に出題されました。このようなラッキーな出来事があるかもしれないので、最後まで諦めずに頑張ってください！

⑤進学大学学部学科とその他合格した学部学科

進学先：慶應義塾大学文学部（一般）

その他：聖心女子大学現代教養学部（一般）

白百合女子大学文学部（センター利用）

【上智大学 文学部 新聞学科（カトリック高校対象特別選抜試験）K.F】

①勉強法

学校の日々の勉強は本当に大切です。英語は Date Base、Next stage の小テストは確実に取るようにし、AE で鍛えていただいたスピーキングやライティングは外部試験で得意分野となりました。AO 入試の出願資格である英検準 1 級相当を得るために英検、TEAP、IELTS を受験し、高 3 の夏に IELTS でようやく目標スコアを取得することができました。様々な種類の試験を受け、自分に合った試験を見つけるのも大切だと思います。

日本史は教科書に暗記ペンを引き、文章で覚えていました。徐々にペンで消すところを増やして頭に定着させ、直接書き込みもしていました。テスト前だけ 1 問 1 答で問題演習をしていました。

小論文は推薦塾で週に 1 課題ずつ練習し、受験 2 カ月前から志望大学の過去問を解き始めました。自分の得意のテーマを 5 つほど用意し、どんなテーマの問題でも自分なりにアレンジできるようにしました。また、新聞を熟読し、スクラップブックも作成しました。ここで得た時事問題の知識は英語のライティングや面接にも役立ちました。

面接は、志望理由書や課題レポート（6000 字）が完成してから先生方にご指導いただきました。面接では深い内容まで聞かれるので、書類は納得がいくまで書き直したほうがいいと思います。

②勉強と部活の両立

高 2 では公演系部活の部長をしていたので、ヨゼフ祭が終わるまでは特別な受験勉強は全くしていませんでした。部活をしていた時は学校の課題と定期テストの勉強を大切にしていました。

③勉強と塾の両立

部活を引退した高 2 の 2 月から英語と推薦（小論文と志望理由書）、高 3 の 4 月から古典と現代文、日本史の塾に通い始めました。推薦塾では同じ志望大学の人も多く、塾に通うことでモチベーションを上げることができていました。しかし、週 6 で塾に通っていたため、思うように予習復習ができないことに焦りを感じていました。私のようにむやみに塾に通うのは得策ではないと思います。学んだことをしっかり身に付けることができる範囲で塾には通うべきです。

④役に立った参考書・問題集

英語 : Date Base、Next Stage、IELTS の参考書

日本史 : 詳説日本史（山川出版社）

国語 : 大学入試頻出漢字 2500（文英堂）、日本語チェック 2000 辞典（京都書房）

小論文 : 2019 年の論点 100（文藝春秋）、月刊新聞ダイジェスト（新聞ダイジェスト社）、小論文の完全ネタ本（文英堂）、朝日新聞

⑤後輩へのメッセージ

私は受験当日、試験問題の内容が過去問と大きく変わっており全く解けず、さらに圧迫面接で落ち込みました。合否結果がでるまでの 12 日間、できるだけ努力はしようと思い、受験翌日には別の 2 つの大学の AO 入試を急遽受験することを決め、先生方に助けていただきながら 1 週間で志望理由書と自己推薦書を書いて出願しました。結果的には 2 学部受験していたことが幸いし、志望大学に合格することができましたが、

不測の事態に陥ってもあきらめないことが大切だと感じました。

推薦、AO入試どちらであっても、大学で何を学びたいかの軸をブレずに持っていること、出願資格を備えていることが必要です。私は高校3年間で語学研修、ボランティア活動、部長、委員長、英語弁論大会出場、学校外の活動など様々なことに挑戦し、大学で学びたいことを見つけました。**志望理由書に、ただ「学びたい」と書くより、実体験に基づいた動機の方が説得力が増します。受験には直接関係ないと思う経験も意外と役に立つものです。**ぜひ様々なことに挑戦してください。

AO入試と一般入試の勉強の両立は本当に大変です。ですが、AO入試は合格の可能性を広げてくれますし、自分と向き合う良い機会です。受験は本当に辛いと思いますが、夢の実現に向けて頑張ってください。皆さんの未来が輝くことを願っています。

【東邦大学 看護学部 看護学科（一般）M.Y】

①勉強法

私は、最初、公募推薦でこの大学に行く予定でした。ですが、合格することができなかつたため、一般の人たちより一歩遅く受験勉強を始めました。そのため、公募推薦が終わった時から、毎日 **15時間**は、勉強していました。

しかし、自分が思っている以上に英語の実力が伸びず、悩むことが多かったです。自分に合った勉強方を見つけるために、いろいろなやり方を試しながら、単語や熟語を暗記していました。高校3年生の半ばぐらいにやっと、短時間で早く覚えられる単語の覚え方を自分なりに見つけ、それを続けてきました。勉強法は、人それぞれだと思います。自分に合った勉強法を早くに見つけ、それを続けることで、それが結果に繋がっていくと思います。

②勉強と部活動の両立

部活は、体も疲れるので、体調を崩さないよう栄養面に気を付けていました。そして隙間時間を有効に使いました。

③勉強と塾の両立

公募推薦の時は、学校で面接の練習をしていたため、塾との両立は難しかったです。ですが、隙間時間などを利用し、なんとか両立をすることができました。

④役に立った参考書、問題集

Next Stage Data Base 4500

⑤後輩へのメッセージ

気持ちが一番大事です。頑張ってください。

①勉強法

- ・志望理由書の材料探しや、事実確認のために企業訪問を夏休み中に行いました。家や学校では集中出来ないタイプなので、塾で書類作成や情報収集を行っていました。
- ・小論文試験の対策として、時事問題について学びました。理解出来ないところはインターネットで調べたり、学校の先生や塾、親に質問するなど利用出来るものを利用して、分かるまで追いました。
- ・私は受験した学部が法学部だったので、基礎的な法律については覚えました。
- ・上智大学においては、自己推薦書とともに課題レポートの提出が課せられるので、レポート作成のために論文を出来るだけたくさん読んでから作成しました。
- ・面接練習は、まず自分の作成した資料の分析から始めました。一文一文が必要な理由を確認し、暗記してから面接練習に臨みます。それでも本番では自分では思い付かなかった質問を受けるので、質問者がなぜその質問をしているのかを考えられるように練習しました。面接練習は数をこなす事が大事だと思っていたので、塾と学校、両方で行っていました。

②勉強と部活動の両立

課外活動の茶道と華道をしていましたが、勉強の気分転換になっていたのも、やっていた良かったなと思います。負担になりすぎない気分転換の時間を作ることは良いことだと思います。

③勉強と塾の両立

私はAO専門の塾に通っていました。なので、受験期間中は、学校や一般の勉強よりも、小論文対策、グループディスカッション対策、書類作成、面接対策などに力を入れました。塾では入試に必要なことが学べました。

④役に立った参考書・問題集

News 検定問題集、日本一やさしい法律の教科書：これから勉強する人のための(日本実業出版社、品川皓亮)、知らないと恥をかく世界の大大問題 1~10(角川新書、池上彰)、Google scholar、社会科の多田先生、成瀬先生に大変お世話になりました。

⑤後輩へのメッセージ

公募推薦やAO入試の受験を考えている人達はまず根性をつけてください。論文を何本も立て続けに読んで自分のものにし、書類作成に利用することや、様々な人と面会しお話を聞くこと、自分の書いた文章を否定されて悔しくて堪らないこと、思い入れのある文章を削らなければならないこと、例え失敗してもすぐに気持ちを切り替えて他の文章作成をしなければならないこと、これらは日常に無いことなので辞めたいと思うことが何度もあります。でも、そこで諦めて手を抜いたら後悔するのは自分自身です。私も受験期間中、何度も自分自身に呆れて、たくさん後悔しました。でも、応援してくれる人がいること、支えてくれる人がいることを考えて最後は頑張れたと思います。みんなもやれば出来る！最後に信じられるのは自分だけです。頑張ってください！！

【学習院大学 文学部 史学科（一般）K.0】

①勉強法

- ・学校の進路相談室や自習室を利用しました
学校は先生やクラスメイトの目もあって少しの緊張感と共に勉強でき、進路相談室には先輩方が残して下さった問題集が置いてあるので良い環境だと思います。
- ・メリハリをつけた生活を送ることを心掛けました
自分の生活リズムを見直し、一日のスケジュールを立て、それに沿った生活を送るようにしました。私の場合、勉強時間は学校に合わせて 50 分+休憩 10 分を取り、問題が途中で一旦止めることで次に繋げやすくなるよう工夫しました。
- ・同じ問題集を繰り返し取り組みました。
やると決めたものは何周もして、全て答えられるようになることを目標に取り組みました。記憶は三回思い出すと忘れないらしいので期間をおいて三回は同じ問題を解くようにしました。
- ・声に出して覚えました。
私は書くよりも読んで覚えるタイプだったため、教科書や参考書をよく音読していました。

②勉強と部活動の両立 ③勉強と塾の両立

どちらも所属していなかったので自分の時間を多くとることが出来ましたが、趣味に没頭していたため、本格的に勉強を始めたのは高校三年生の七月からでした。

④役に立った参考書・参考書

- ・英語
Data Base4500/Next Stage/英分解の技術(全 3 冊)/竹岡の英文法・語法 ULTIMATE 究極の 600 題/Voice<センター試験対応>リスニングテスト/センター過去問
- ・国語
マドンナ古文常識 217/古文完全攻略 マドンナ入試解法/みるみる覚える古文単語/読解をたいせつにする体系古典文法/GMARCH&関関同立の古文/首都圏「難関私大」古文演習/漢文ヤマのヤマ パワーアップ版/漢文道場/センター過去問
- ・日本史
日本史 B 講義実況中継①~④/日本史 B テーマ史講義実況中継/実力をつける日本史 100 題/日本史問題集完全版/日本史 B 一問一答/最新日本史図表/日本史用語集/センター過去問

⑤後輩へのメッセージ

- ・始めは受験するという実感がないうまノロノロと勉強をスタートさせましたが、全然時間が足りない!! と感じてからはとても焦りました。重要性を感じなくても取りあえず地道に積み上げておくことが後の勉強に大きく関わってきます。
- ・塾に入らないで勉強しましたが、自分がやっていることが正しいのかわからず、精神的に不安定になりました。全ての受験生にも言えることですが、**自分を信じ続けられるかどうか**が受験を乗り越えるための鍵です。

⑥進学大学学部学科とその他合格した大学学部学科

進学先：学習院大学文学部史学科

その他：國學院大学文学部史学科、成城大学文芸学部文化史学科、武蔵大学人文学部日本/東アジア文化学科、駒澤大学文学部地理学科地域文化研究専攻、日本大学文理学部史学科、昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科、神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科、武蔵野大学文学部日本文学文化学科、大正大学文学部歴史学科

【聖心女子大学 現代教養学部（指定校推薦）M.T】

①勉強法（塾、部活等含む）

私は学校での勉強に重点を置き、その他市販されている参考書等は一切使用しておりませんでした。塾にも通っていなかったため学校で教わるものが全てでした。学校外で伸ばすという方法ではなくまずは目の前にある課題を一つ一つ丁寧に取り組むことを自分の中で目標とし、提出物、小テスト、授業、定期テストをきちんと行うようにしていました。英語の小テストは学年が上がるにつれて一回の範囲が多く、部活等を終え帰宅後に準備するというのはやはり大変なので、**できるだけ学校の休み時間に1ページでも2ページでも多く目を通しておくことをお勧めします。**一度目を通しただけでもその後、家で勉強するときインプットできる量が大幅に増えると思います。

定期テストについては自分に合った勉強法を見つけ、取り組むことが最適だと感じます。高校生活の中で実際に私が行っていた勉強法を以下に記します。

テスト二週間前になったら教科ごとに範囲とすべきことを紙に書き、計画的に勉強を進めていきます。紙に書くことで何ができていないのかを把握することが可能なので、直前に焦ることが減りました。日本史は、範囲の教科書を一通り頭で考えながら（すごく大切）音読し自分の言葉に変え、覚えるべき単語のみ赤シートで消えるペンで書き、ノートまとめを行っていました。ノートが完成したら後はテストまで毎日読むだけです。それを行うことにより時代の流れを把握でき、尚且つテストで出題される単語も覚えられます。

英語も教科書を頭で日本語に変換しながら音読していました。日本語訳がすぐに浮かばなかった場合は、その一文を細かく分けることによって構造も理解でき意味もきちんと分かると思います。

古文・漢文は内容を理解し、現代語訳を覚えていました。訳を覚えることで助動詞の意味、登場人物の感情を問われても答えることができます。

④役に立った参考書・問題集

日本史：日本史用語集 教科書

⑤後輩へのメッセージ

指定校推薦を望んでいる方は、テスト勉強が苦しい時こそ自分に厳しく大げさにこれまで頑張ってきたものを無駄にしてもいいのか？と自分に聞いてください。そうすることで自分のため、将来のためと気づき、やらなくちゃという気持ちになれると思います。楽しい時は一度勉強を忘れる勢いで思い切り楽しんで、勉強するときは真剣に取り組む。生活にメリハリをつけて残りの学校生活、大きな夢をもって存分に楽しみ、努力すること頑張ってください。きっと大丈夫です！

【麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 (AO) A.W】

①勉強法

AO 入試や公募推薦で不合格だった時のために、まず、センター試験に向けて勉強し始めました。私は自習するときは家や塾の自習室を利用し、とにかく問題をたくさん解くようにしました。たくさん問題を解いていくことで自分の苦手分野をきちんと把握できるし、苦手克服にもつながるからです。特に、生物はたくさん過去の問や問題集を解きました。

AO 準備は夏休みごろから始めました。夏休み前、先生にアポを取って、夏休みに家で書いてきたものを先生に見ていただいて、アドバイスをいただき、家で書き直して、また次の日にみていただくという風にして、夏休みの後半一週間程度はずっとその繰り返しをしていました。たくさん先生に見ていただくと、様々な意見をいただけるなど、メリットも多いですが、私の性格上、色々な意見を聞くと迷って時間がかかってしまうのではないかと思いました。そこで、私は理系の先生には文章の内容を、国語の先生に文章の構成に関するアドバイスをいただくという形で、特定の先生 2, 3 人をお願いすることにしました。

一次は志望理由書、自己申告書を提出とのことでした。自己申告書は自分で高校三年間を振り返って、四つの欄に自分でテーマをそれぞれ決めて、文章で書きました。(例、部活・委員会・受賞歴・課外活動等) また、自己申告書には高 2 の秋からの模試の成績で偏差値の良いものを三科目それぞれ記入しなければならなかったもので、模試も気を抜かずしっかりと勉強をして受けるようにしました。

二次は面接のみだったため、一次の合格発表を見てから、面接の練習を始めることにしました。一次の合格発表から二次の面接まで一週間しか時間がなかったので、あまりたくさんは練習ができなかったのですが、先生に何度も面接練習をしていただきました。私のように面接の準備時間があまりないとできませんが、いろんな先生にたくさん練習をお願いしておくほうが安心だと思います。最初の面接練習の前は、聞かれそうな質問をリストにして書いておきました。そして、自分が予想した以外の質問が練習で来た時はまたそのリストを足していくようにしていました。原稿は大まかに書いておくようにして、うまく答えられなかった質問だけは原稿をきちんと書きました。すべての質問に原稿をしっかりと作ってしまうと、覚えるのに時間がかかって、予想外の質問をされたときに答えられなくなる心配があったからです。予想される質問だけきちんとメモしておくようにしました。

AO で合格が決まった後もセンターの申込をしていたので、それに向けての勉強をきちんと行うようにしていました。

②勉強と部活動の両立

私はクラブ紹介までは部活動をこれまで通りに続け、その後は、夏休みに数回ヨゼフ祭の準備で部活に出たので、勉強や AO の準備に支障が出るということはありませんでした。良い息抜きの場になったと思います。

③勉強と塾の両立

私は高 3 の 4 月から塾に通い始めました。生物は映像授業で、数学は個別指導で教えていただいています。夏期講習では英語も映像授業を受けていました。塾の自習室を利用して、勉強をしていました。周りが勉強をきちんとやっているの自分もやらなければという思いになって勉強が捗るので、家だと集中力が続かないという人にはおすすめです。

④役に立った参考書・問題集

英語：Next Stage, DataBase4500, 英文法語法良問 500+ 4 技能(河合塾)

数学：リンク数学演習 IA+II B、Z 会チェック&レポート数学 IA、II B、センター過去問

生物：セミナー生物、センター過去問、模試の過去問(ベネッセ、河合塾、駿台等)

⑤後輩へのメッセージ

入試方法の選び方が本当に重要になってきます。たくさん方法があるので、一つ一つを自分で理解しておく必要があります。

私は AO 入試を受験しました。AO 入試はかなり具体的に大学で学びたいことが決まっている人や自分の将来像が見えている人にとって最適な方法だと思います。逆に、あまり具体的に決まっていない人には難しい方法です。一般入試と違って、早く決まるし、つらい勉強を長くしなくて良いので楽だと思われがちですが、時期が早いだけで AO も準備に労力は相当かかります。合格が分かるまでは、一般入試の勉強も AO 入試の準備と並行して行わなければいけません。さらに合格後も、一般入試の人と比べると、やはり勉強時間が少なくなってしまうので、進学後に困らないように、勉強を続けなくてはなりません。大学が決まってしまうと、勉強を続けるモチベーションが上がらなくなってしまうがちですが、勉強を怠らないようにすることが大切です。安易に楽だと思ってしまう方を選ぶのではなく、**よく考えた上で自分に合った入試方法を選んでください。**

そして、一番忘れてはいけないことは自分だけがつらい思いをしているのではないということです。友達はそのほど苦しそうではないのに何で自分だけ、とってしまうこともあるかもしれません。しかし、それはつらい時期が友達とは違うだけです。つらい時期は誰もが経験するのです。だから、逆に、友達がつらい時には支えてあげてください。

高校3年生というのは、受験の年であると同時に、高校生活最後の年です。頭が受験のことでいっぱいになってしまうかもしれませんが、高校生活最後にはみんなでたくさん良い思い出をつくってください。

【日本女子大学 理学部物質生物科学科（一般）M.S】

①勉強法

夏休みは自習室が開いている日は、朝から夕方までフルに学校を利用しました。センター試験までは、センター用のテキストをひたすら何度も解きました。センターが終わってからは個別の試験に必要な科目の問題集を繰り返し解きました。なるべく難しい問題に手をつけ、本番で戸惑わないようにしました。

②勉強と部活動の両立

私は高3の6月まで部活に所属していて、家に帰ると眠くなってしまうので部活が終わった後、19時まで自習室で勉強しました。部活を引退した後も出来る限り学校に残り勉強しました。

③勉強と塾の両立

学校がある日は、19時まで学校で勉強しその後塾に行き勉強しました。問題集を解いて分からない問題をひたすら質問しました。

④役に立った参考書

英語 データベース、ネクストステージ(ウイニングスピリット、ベストトレーナー)

生物 セミナー生物、単元別問題集、重要問題集

化学 セミナー化学、チェック&演習、

地理 決めるセンター

国語 体型古典文法、漢文の習得

数学 チャート、短期集中ゼミ、文系数学の良問プラチカ

全教科 センター過去問

⑤後輩へのメッセージ

まず、志望校は早く決めることに越したことはありません。志望校が早く決まれば自分がどの教科をどれくらいの比重でやればいいのかをしっかり考え、計画を立てて勉強する事が出来ます。これは、志望校を決めるのが遅くなり苦労した私が切実に思う事です。

これからどんどん勉強の時間が増えて大変だと思いますが息抜きも大切です。10分休憩したところで頭は悪くなりません。ですから息抜きもしながら自分が常に健康な状態で勉強出来るようにする事をお勧めします。頑張ってください！

⑥進学大学学部学科とその他合格した大学学部学科

進学先：日本女子大学理学部物質生物科学科

その他：神奈川大学理学部生物科学科

日本大学生物資源科学部応用生物科学科

日本大学文理学部生命科学科